

# エゾマツ



No.59 2002. 1. 20

北海道ボランティア・レンジャー協議会

# 目 次

1. 巻頭言 初午の駆ける新春を讀つつ.....会長 川端 功治 (1)
2. 午・馬・ウマ..... (3)
3. 会員の声..... (4)
4. 本の紹介..... (10)
5. 私の一名山に代えて.....小泉 郁夫 (11)
6. 台湾固有生物研究保護センターより礼状..... (13)
7. 「子ども樹木博士」認定.....小林 文男 (15)
8. キーワード..... (17)
9. 観察会・研修会情報..... (18)
10. 編集後記..... (19)

## 《表紙絵》

樹木の枝上にアカミヤドリギが見られます。冬の森では葉の緑と果実の赤が大変目立ちます。ヨーロッパでは神聖な植物とされています。

## 初午の駆ける新春を讃えつつ

会長 川端 功 治

会友の皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたことと拝察しまことにおめでたいことで、心からお祝い申し上げます。

私は午年生まれですから、人一倍張りきらなければならない筈のところ、残念な事に「お馬さん」とは仲良しになれなかったひと頃があったのです。

若輩のころ見習検尺係を命ぜられ先輩に付いて勉強に一生懸命でした。巨大な挽馬が橋に積んで来た丸太を計測するのですが、先輩は手早く計測を終えます。

私が真似をして積み荷に物差しを当てて末口の径を測ろうとすると馬さんが暴れ出すのです。積み荷の都合で丸太の末口径がお馬さんのお尻の方に向けて積まれていると後脚で蹴られる心配もあるので休憩中の馬方の助けを求めに走ると、長い行列をつくり順番待ちの馬方衆から「早くやれ！」の野次が飛びます。

このお馬さんは何で私を嫌うのか、と愚痴ったら馬方は笑いコケて「旦那さんが新米だから、からかうのですヨ。後ろ脚で蹴ると旦那がビクッリして逃げるのが可笑しいのです」と。何だか馬方とお馬さんがグルではないかと疑いました。ところがその後馬がブルドーザ運搬に代わり、そのブルも逐次姿を消すご時世に変わり果てました。安価な外国産材が市場に氾濫して国産材が売れなくなつたので山から木材を切り出す需要が激減してしまいました。

従って林産物の需給構造の大改革に迫られ、国有林は特別会計から一般会計に切替えられことになり、9万弱の職員は他官庁に大部分を配置転換をして現在は1万2千余名ですが、更に8千人程度の定員にする計画と伝えられています。

結局森林は環境林として認識され国民の生活保護と国土の保全を図るのを主たる目的とすることになり、道有林、市町村有林等も同様の措置を執るよう財務当局から強要されると思われませんが、これが今話題の聖域無き構造改革なのです。

このような林政の一大転換と国民の自然林に憧れる癒しの欲求がブームになり

あながち偶然とは云えない裏腹の現象のように思えます。

道新野生生物基金が募集したフオレスト、ウォッチング（自然観察をしながら山野を遊歩する）は年6回分計520名定員で募集したら3455名が応募し、籤引きで選抜する騒ぎになったと云います。（機関紙モーリー5号掲載）。

これのトバッチリになります。6人に付一人の当選籤に、外れたグループが、当会の観察会で「ボラレンは何をボヤボヤしているのか、諸経費は各自負担するので直ちに計画実行せよ」と云う手キビシイ抗議めいた要求がありました。

このことは時代の流れであり、すでに公的機関が市民との接点を求めて森林管理局（旧営林局）道有林、支庁、市町村、で観察ツアーが実施されておりますが共通していることは、それぞれの行政管轄内に限って行動し、その参加者に応分の参加費の負担を求めていることでもあります。

生活弱者に救援に要した費用の請求をしないのが、ボランティア活動の原点であります。障害者、老人会、子供会、等から自然観察散歩等の案内や介添えを依頼されれば積極的に協力して参りました。そして定例の観察会は市民サービスと位置づけ、営々と続けて参りました。

ところが官公庁が自ら公募して、実費と称して参加費を求めています。スタイルは民間の営利企業と変わるところが無く、参加費の額の差だけが、公私別の差とすれば、我が会でも官公庁並に参加費を請求する観察会を実施しても、その参加費の中身に、利益やレンジャーの労働報酬が含まれていなければ同じこととなります。今流行りの自然愛護運動に参加している事になるのが重要ポイントなので、役員会等で検討して戴きたいし、会員各位にも関心を持つて貰いご意見をお寄せ願いたいと存じます。

元氣一杯の初午にあやかって、今年も協力一致頑張るって良い汗をかきたいと思っておりますので宜しくお引き回しの程をお願いして、新年のご挨拶と致します。

# 午・馬・ウマ

今年の干支は午（馬）です。会員の皆さんの中には、年男がいらっしゃることでしょうし、天を翔けるペガサスの例えにもある通り、私たちの会も勇躍する年にしたいものです。

ウマが人間の生活と密接な関係をもたらはじめたのは、洪積世人類の狩猟の対象としてであったと言われています。さらに、第4氷河期の洞窟遺跡には野生のウマの壁画や彫刻が見られます。このように馬は古くから人と関わっていました。

ところで、日本に関係のある馬の品種は次の11種です

バニー種、ボスチー・フルトン種、アメリカン・トロッター種、クリーブランド・ペー種、クライズテル種、ベルシェロン種、アラブ種  
サラブレッド種、アングロ・ノルマン種、アングロ・アラブ種、ブラバゾン種

北海道開拓に貢献したドサンコは近年あまり見ることができなくなりましたが、黙々と着実に歩む姿を私たちの会に重ねあわせて、今年頑張っていきましょう。

## 10月以降の活動

- ・秋の森の観察会      10月15日（日）    10:00～14:30  
野幌森林公園 大沢口
- ・ありがとう観察会    11月12日（日）    10:00～14:30  
野幌森林公園 大沢口
- ・12月の森の観察会    12月7日（木）    10:00～12:00  
野幌森林公園 開拓記念館前
- ・役員会                1月19日（土）  
環境サポートセンター
- ・広報誌「エゾマツ」59号発行    1月20日

# 会員の声

純真なこどもの心と自然

札幌市豊平区 藤内道夫

ここ数年、春から秋まで札幌市白旗山都市環境林で自然に親しむ市民の案内に携わっています。案内のなかで幼稚園児～小学校低学年生が一緒に親子散策がとても楽しいです。

植物や小鳥の名前が知らなくても、美しいものは美しい、綺麗なものは綺麗と、子どもは感動し喜びます。大人が見過ごす小さい動きも見逃さない子どもの目。自然に学び動き育まれる純真なところと感性に輝きがあります。

去年ある日の観察会で、センス・オブ・ワンダー（レイチェル・カーソン著）という本をお読みになりました？、とお母さんたちに話しかけたところ、「読みました映画も子どもと一緒に見ました。」との応えに、幼少時から自然に親しみ自然に学ぶ子ども中心の親子をほほえましく思いました。

来年も森の草花や小鳥さんたちにお会いしましょうと約束をし、皆さんとさようならをしました。私たちにやさしい森林と自然に感謝し、いつまでも平和であることを願っています。

札幌市白石区 香島由美子

7月8日、日曜日 10時雨であったが、途中でやむ。村野道子氏の講習観察会。大沢口の看板の前で、この公園の成り立ちは、新潟の庄屋で名字帯刀を許された関谷孫左衛門が貧しい小作人を救援する為に、明治19年、江別太に入植する。今の千古園、運動公園に住居があって、ブナの木を植えられた。

明治30年、御陵林を切る動きがあり、白石、江別、北広島に分割せよという命令

があったが、直訴して取りやめとなる。田原自然保護会長が断りの使者となった。

昭和42年、国定公園に指定された。昔は針葉樹が並ぶ暗い森であったが、昭和29年、洞爺丸台風で倒されて明るい森となった。中央線道路が分水嶺となって水が流れる。

ハルニレ、葉に触れるとザラザラしている。エルムの別名、アイヌはこの木に神様が宿って人が生まれたとユーカラでは伝えている。アメリカから来日した人は故郷を懐かしむ気持ちから扇状地に植えた。

カツラの木、一族の世代交代の様子が明らかに見られる。緋桂の雄株は、碁盤、張板、丸木舟などに使用された。若葉の赤い色アントシアンで紫外線を避けて赤外線を取り込む。秋の匂いの原因は？。バナナ状の実地面に赤いビニールの側のヒロハハシドイ（ボラレンのガイド本には書かれていない）

シナノキ、アイヌ語で、結ぶ、縛るの意味。この繊維で普段着を作っていた。土産品、熊彫物材、蜂蜜が取れる。

マツ科マツ属マツカサ球果が下向きに出来て落ち、うろこ状の樹皮で褐色はエゾマツ。トドマツは、球果が上向きに成り、種がバラバラに落ちて針のみが残る。トドロップ針葉樹の葉は分解されないから腐葉土に成らぬ。したがって下草が生えない。樹皮の穴、カミキリ虫が育った後、新芽が出る時、何日か出て出る樹として、ケヤマハンノキ、ホオノキ、ナナカマド、ヤナギ。一年分一斉に開く木はミズナラ、ブナ、カエデ、サクラ、トチノキ。ヤチダモの複葉は大昔、一枚の大きいものが、風雨をしのぐ為に細かく切れたのではないか。短枝のゴツゴツは一年ごとの重なりである。

ホオノキ、進化していない花で、40日おきに一つの花が順番に咲く。実の付け根にらせん状の雄しべの痕、その下に花卉の痕、ガク3枚の痕が、かすかに見受けられる。一部屋に2粒の種が入り、秋には真っ赤になる。芳香剤になる。朴葉味噌ができる。シウリザクラ。アイヌ語でニガイ実で、バードチェリーとなる。

カエデ科の翼果は、ベニイタヤ30度、イタヤ90度、ヤマモミジ120度、クロビイタヤ180度。一年間に人が吸う酸素量を平均した太さで16本必要で、木造の家を立

てると、直径40cm、高さ20mの木が、25本必要となる。樹木の防音効果はモルタルの2倍、このような事が印象に残りました。

川端会長より、大沢コースの終わり頃にある立札「駐蹕」について漢和辞典の解釈「チュウヒツ」と読み、天子行幸の途中、一時在留せられることと、調べて下さいました。先日、NHK夕方5時の大好き北海道に出演された時の、道子氏のメッセージは、森があって、生きている私たちでした。また、川端会長の若さの秘訣をご紹介しますと、三男の方が、長兄の言いつけを守って、転勤を断り両親を見守っているという事ですから、安心して会長をお願いしてもよいと感じたところでした。

久し振りに参加できた楽しい勉強会でした。有り難うございました。

#### 北海道フラワーソン'02実施について

ニセコ町 池田郁郎

6月15、16日両日、2回目の北海道フラワーソング実施されます。前回は97年6月14、15日で行われ、約2300人が参加しました。ただ道央集中し今回は募集方法を工夫しようとの意見が多いようです。調査員（フラワーメイト）募集は3月の道新で、同月中にフラワーメイト決定となりそうです。実行委員には前回のメンバーの他に五十嵐博さんが加わり、正確性を重視したスタッフになりました。

調査結果は冊子にして、参加者に無料配付する予定で検討中とのことです。前回のように手引書は作らないかもしれません。これも検討中です。参加記念品は、野の花イラストのスクラップバッジで販売も出来るよう大量に制作するとのことです。

以上は情報ですが、これからはお願いになります。情報としても書きましたか道央集中し、地方では空白区ができています。後志でも一カ所ありました。田舎ではどうしても人が少なく、参加チームが広さを補いきれません。ニセコの自然の会で、なんチームか作りたく検討中ですがスタッフが足りず、そこで協議会会員の皆様に参加協力をお願いします。一日でも結構です。二日間で宿泊を伴う場合「Pふきのとう」に限り50%OFFでいかがでしょうか、ボランティア宜しくお願い致します。



ちなみに、前回後志では、蘭越町のチームが130種で5位に、岩内の大倉先生が94種で15位と、多くの花が見られます。(蘭越町のチームには細尾先生が半日、後日池田も半日付きました) ニセコ自然の会には花を見つける名人や、ニセコ植物界のDONもおり、楽しい二日間になることまちがいありません。

## マレーシアの小さな国際親善大使 野幌森林公園でつどい

平成13年11月15日、マレーシアの小さい国際親善大使が野幌森林公園を訪問。当会の川端会長、佐藤事務局長がお相手をしました。小さな大使たちは満足した一日でした。

マレーシアの小さな大使 26名 丘珠高校生・教諭 22名  
事務局・サポーター 7名イ 計55名

### 1. 自然ふれあい交流館

- ・13:50～ 館の方からの全体説明
- ・14:00～ ボランティアレンジャー協議会からの説明
- ・14:00～ 自由に館内を体験

2. 自然林の探索 (川端会長の説明) 14:00～15:05

3. 開拓記念館 (館の説明、映画鑑賞) 15:15～16:00

## Love In Any Language

Love in any language, straight from the heart,

Pulls us all together, never apart,

And once we learn to speak it,

all the world will hear

Love in any language fluently spoken here.

ホロホロ登山に寄せて

白老町 森永 浩

昨年秋、地元山岳会主催に参加しました。胆振では最高峰の1300mあり、市街地から登山口まで24km。さらに頂上まで、ゆっくり2時間半で到達。眼を右方向へ樽前山に支笏湖から恵庭岳。左方向には羊蹄山から洞爺湖へさらにオロフレ山まで眺望できて幸運だった。下山の途中、赤や黄色の紅葉の美しさに目を奪われ足を滑らせて尻餅をついた。脇に紅色したツルリンドウの実を見て一瞬ホッとした。下山して豚汁をごちそうになった。

札幌より岩見沢に移り住んで自然をみる

岩見沢市

伊藤 幸子

豪雪地帯として有名な岩見沢に転居して二冬目を迎えた。住めば都というがまさにその通り、いま私は岩見沢大好き人間である。人口八万五千の小都市ではあるが緑が多く、また公園の数は驚くほど多い。それも自然の地形を生かした緑いっぱいのすばらしい公園である。私が特に好きなフィールドをあげるとすれば、やはり利根別原生林である。約四百㏊の広さを誇り、森林・植物・鳥獣の宝庫として、またレクリエーションの場として市民の人気も高く訪れる人が絶えません。いうまでもなく皆さんも一度や二度は、おいでになったことがあるとは思いますが。ただ残念なことに数年前に、人の手を入れすぎ一部自然が壊されてしまったこと。以前の手つかずのままの姿が惜しまれます。シーズン中、私は自転車で何度となくこのフィールドに通います。四季それぞれ、趣が変わり、飽くことはありません。

その他、私の身近なエリア内に小さいけれど緑豊かな素敵な公園が二、三あります。これは誇れるものだと思っています。皆さんも是非おいでください。また、岩見沢の人々は素朴で心豊かな方ばかりです。いま私は岩見沢の生活をとてもエンジョイしています。自然は人を育むって本当ですね。友達もたくさんできました。

岩見沢にて

伊藤 幸子

札幌市白石区 渡辺観寿

5月末、パキスタンヘイスラマバードから北へフンザの桃源郷を目ざした。途中、岬々たる山また山、そして氷河、月面の世界かくあらんと思う。緑を見つけてホットする。そこには小さな水の流れ、そして、草を求めて家畜が、人間の営みがある。インダス川の谷間にひっそりと生きる彼等には何もない。電気も電話も車も、法律もない。水を除いては。要は人が生きられる条件とは、水があること。この一点を強烈に意識させられた旅であった。すでにいたアフガン難民に加えて、また増えた人々のことが気になる毎日である。

興部町 吉水 勲

貧乏暇なしの毎日で、行事になかなか参加できませんが、細々ながら、紋別地方の化石鉱物岩石の収集分類整理を行っております。なかなか、進展していませんが、少しずつ発展させたいと思っております。

何か情報がありましたら、お知らせください。また、興味のある方は一緒にやりませんか。

十勝の活動 (指導者育成および登録と派遣をする)

帯広市 ライフレンジャー Hi スクール校長 大田 昇

平成12年度よりライフレンジャー Hi スクールを開校し、初級90名・中級20名を登録する。資格は自然体験協、初級・中級と川に学ぶ全国協のりバーレンジャー・安全指導の資格を持たせました。平成14年の総合学習のサポートをする社会人を育成する予定です。拠点としては「川の駅・十勝川」1部3階を開発局よりガイドを引き受け、河川敷をユニバーサル化する工事も12年度中に終了し、多くの市民が活動することになります。



日本自然保護協会 編集・監修

## 雪と氷の自然観察

平凡社 2001.12.10発行

定価 2000円+税

一般に『雪』という言葉を聞くと、南国の人は『明るい』『楽しい』『ワクワクする』など概して肯定的なイメージを持つのに対して、雪国の人には、『暗い』『辛い』『疲れる』など否定的なイメージを持つことが多い。……

本書の書き出しの一節です。

昨年暮れ、札幌市を含む石狩支庁や空知支庁のドカ雪は、交通機関や日常生活にトラブルをもたらしました。降雪地帯に住む私たちにとって宿命とはいえ、雪や寒さの煩わしさをどうしても感じてしまいます。

雪や寒さをプラス思考でとらえ実践していく活動の一つとして、冬の観察会があります。しかし、春や夏や秋のフィールドとちがひ、冬の自然観察にはそれ相当の観察の視点で臨まなければなりません。樹木の形、冬芽、幹肌や野鳥の観察は勿論ですが、冬でなければ観察できない場面が沢山あります。

雪上に残された動物の足跡、給餌の跡、フンなどから、動物の行動を推測することは楽しいことです。野鳥の観察も見通しのよい森で間近に見ることができ冬ならではのこトです。また、雪そのものを調べてみると雪の造形の面白さに興味のわくこトでしょう。このような観察の手引きとして、本書は十分に活用できます。

本書の表紙の帯には以下のコマーシャルがありました。

寒さを少しだけ我慢して、自然の中に足を踏み入れてみよう。雪氷の愉快な造形、ウサギやシカの姿、足跡、春に向けて準備する草木の冬芽……。

冬だからこそ見られる自然の姿は、あなたの想像以上に変化に満ちている。天候、動植物、観察会の開き方など、雪上観察の重要ポイントを詳しく解説した、冬のアウトドア・ライフを実践するための最良のガイドブック。

# 私の一名山に代えて

— 101座に立つ —

札幌市南区 小泉 郁夫

年末の12月初旬、ANAの超割キップを利用して友達と二人、神奈川県丹沢山に登った。学生時代からぼちぼちと山を歩き、今回は101座目に立った。

深田久弥は「個々の峰でなく、全体としての立派さから」丹沢山塊を百名山の一つに取りあげたと書いているが、私達は単に羽田空港から近いということと、その頃、関東地方の天候は安定していると考えて、丹沢に登ることにしたのです。

小田急線渋沢駅に降り、大倉登山口から塔ノ岳—丹沢山—蛭ガ岳—檜洞丸を一泊二日かけて縦走した。山小屋で一緒になった山友などから、「蛭ガ岳からの関東一面の夜景と檜洞丸からの真白い富士山」を求めて登ってくる山だと聞かされたが、残念ながら両方とも山頂は霧に覆われ見る事が出来なかった。それでも冬には見れることもあると言う霧氷、ソメイヨシノの満開の山かと思うような見事な霧氷の眺めを満喫し、山頂までぶなの大木が枝をはる、北海道の山との違いを味わった。人を見ても逃げない鹿に出会ったが、山で金網を張る仕事をしている人達から、鹿害から丹沢の植生を守る苦労話も聞いた。

この山行の前回、九月下旬の立山三山の縦走と翌日の剣岳登頂は、あまりもの快晴つづきで、天気はツキはこの時使ってしまったものと考えた。富士山を初め本州の高い山は全部見えた気がし、山頂から麓へと色移る紅葉を楽しみ、這い松の上をあそぶライチョウにも会えた。

ここ二三年は自由時間が充分とれるようになったので、内地の山へ出掛けることも多くなり、初めて登る山もふえてきた。ただ先だつものは年金をさいて生み出すので、本州へ行くときでも予算は片手で収まるように工夫している。新しい山に出会う毎に記録をワープロで整理しているが、子供の頃に登った山も全部数えて今回で101山となった。

若い頃は、頂上を目指して先を争うように走らばかりに登ったものだ。ポラレンに参加して、多くの皆様からご指導をいただき、草花や樹木にも目がいくようになり、楽しみも一段と増した。

思い起こすとどの山も忘れがたいが、とくに富士山は、東京勤務時代金曜日の仕事を終え、そのまま電車とバスを乗り継ぎ麓の五合目に降り、休む間もなく登った夜間の登山、軽い高山病と夏と言うのに寒さにまいり、その時は二度と登るまいと思った、山頂に立つまでは。

九州出張のおり、仕事のあと背広やネクタイを国鉄の駅ロッカーに押し込み、霧島神宮の裏手から登り韓国岳、新燃岳、獅子ガ岳と一人で走るように縦走した。よく南のはずれの山まで来たものと思ったが、その二年後さらに南の開聞岳に登ろうと麓まで行き、雨で断念した。'99年家内と鹿児島に遊んだ折、ようやく30年ぶりに開聞岳に登り「革靴で登っている」と指をさされたが、開聞町長の登山証明書をもろうこともでき夢をかなえた。

ふたりの子供たちがまだ小さい頃、日曜毎によく一家で高尾山に登り、その当時は「高尾山は私のホームベースの山」としていた。私の生まれ育ちは、小樽の赤岩山の麓であったから、この山には特別の愛着を持っており、今でも札幌から列車で小樽に向かうと、はりうすあたりで日本海の波のうしろに赤岩山を認め、“帰って来た”の感情を禁じえない。五年生の頃札幌に転校して、遠足で桜咲く円山に登り、幼心に忘れがたい思い出を残した。今では年に一度元旦に登る山としている。

第一の人生最後の仕事では、俱知安に住み、えぞ富士羊蹄山とニセコアンヌプリの見える地域をはしりまわった縁でしょう。平成元年には、「私の山」とした羊蹄山を東に、北にニセコアンヌプリを仰ぎ見るニセコ町にも居を構え、シーズン中は山を眺めながら、今日も野菜作りに精を出している。

最後に101山の残りの主な山名をもうすこし上げて、つたない文を終えます。

利尻岳 羅臼岳 斜里岳 大雪旭岳 北鎮岳 黒岳 十勝岳 富良野岳 美瑛富士  
手塩岳 芦別岳 夕張岳 アポイ山 恵庭岳 無意根岳 札幌岳 空沼岳 藻岩山  
手稲山 風不死岳 樽前山 南暑寒別岳 神威岳 小樽天狗山 余市岳 目国内岳  
岩内岳 チセヌプリ 昆布岳 駒ヶ岳 岩手山 八幡平 筑波山 浅間山 大菩薩嶺  
雲取山 入笠山 陣馬山 景信山 白馬岳 燕岳 槍ヶ岳 伊吹山 久住山 阿蘇山

## 台湾固有生物研究保護センターより礼状

エゾマツ57号に掲載されていますが、昨年6月3日(日)の観察会に参加された6名から、ガイド役を勤めた五十嵐副会長に礼状が届きましたので紹介します。



北海道 ボランティア・レンジャー協議会  
副会長 五十嵐 一夫様

台湾固有生物研究保護センター  
解説員 李 淑容

お元気ですか、先日野幌森林公園に五十嵐様より約二時間のご丁寧な案内で、とても有意義な見学をさせていただきました。私達に対して大変豊富な旅になりました、誠に有難うございました。

私達のグループの勤め先は台湾固有生物保護センター台湾の中部である、大変綺麗な所です。いつか台湾へ旅行に来る計画があれば是非本センターへ遊びに来てください。

まずは御礼のご挨拶まで  
五十嵐様の御多幸と御健康を心からお祈り申し上げます  
会長 川端様と北海道環境生活部環境室自然環境課の皆様  
くれぐれもよろしくお伝え下さい

李

胡阿宜 王美婷 麗 敬具  
邱玉娟 李淑容 華

劉真頭

植物資源

查那山植物志  
*Vascular Plants of Chaya*



南島彩蝶  
*The Butterflies of Taiwan*

(14)





# 「子ども樹木博士」認定！

夏休みのひととき  
空沼学びの森に遊ぶ

札幌森友会  
代表 小林 文男

夏休みのひととき、子弟の自然ふれあいを空沼の「学びの森」で、樹木の名前や性質を覚えましょう！いくつ覚えたかを判定してもらい、「子ども樹木博士」の称号をもらいましょう！。

近郊の小中学校と、地元新聞やスポーツ新聞にこのような呼びかけで案内してもらいました。

実施日が調度お盆とかさなり、すでに家族でのキャンプ等の計画もあって25名の参加になりました。

この内認定希望者小学1～6年生の5名（男4女1）と、中学1年生5名（男1女4）の10名を対象者とししました。

認定実施体制は、全国子ども樹木博士認定活動推進協議会の支援と石狩森林管理署の後援を仰ぎ、当会員で元営林局署OBを含めた認定委員会を発足させた。

早速学びの森での標本木40樹種の選抜から、普段手慣れない樹木ガイドの作成等に取り組みました。ここは天然生林の中とあって、普段市街地では出会いの少ない種類が多いことが少し気になりました。

実施日の前日には、現地の再確認と歩行に邪魔になるような物を片づけ、解説木に樹種名の標識をつけて本番を迎えることにしました。

当日は天気も快晴で、本日の役員始め北海道森林管理局の指導官、参加者のみなさんが早々に集合を終えて一同余裕をもって現地向かうことになりました。

現地まで約1時間の車中では、全員の自己紹介で堅さもほぐれ和やかな雰囲気を感じられました。続けて、林野庁や林業普及協会から発行された「森・みどり」等のパンプを使って、森のめぐみについての話が終るころにバスは学びの森に到着しました。

簡単な開会のセレモニーを行い、続いて樹

木解説から始めましたが、標本木には樹種名を標示してあり、一本一本の特徴や利用方法等を解説しました。

普段見慣れない木々に、生徒と家族が一緒になって幹や葉に触れている姿等心をなごませてくれる場面もありました。

これはプロ野球選手の使うバットのアオダモ、ノンプロ級が使うヤチダモ等と解説しながら、一巡40種類の解説を終わったところで森での楽しい昼食にしました。

いよいよこれから本番を迎え、認定委員から手渡された答案用紙と標本木の位置図、それに樹木ガイドを手にとり出陣です。

一本一本の名前を記入し、一巡を終えた者から答案が提出され、複数の認定委員が採点と点検を交互に行い慎重且つ厳正に評価を行いました。

一方この時間に輪尺と測高器（ワイゼ・手製のN式）を使っての測樹遊び、「メドオリ」・「カラス止まり」ってどこ！等とみんなが交互に楽しんでいました。

さて、いよいよ今回の成果を発表する博士号認定証の授与の時が来ました。

全国認定基準に従い10級と2級各1名、3段5名（男2・女3）と4段3名（男1・女2）という予想をはるかに越えた好成績でした。

私はこの成績を見た時、この子どもたちの理解力・記憶力とその感性に驚きました。

この感激を忘れないように、今ここに芽生えた「子ども樹木博士」の輪に、これからも一人でも多くの参加を迎えて、森への理解を深めながら更に楽しい輪を広めていきたいと念願するところです。

2001・8、14日 実施  
〒061-2284 ☎ FAX: 011-592-1030  
札幌市南区藤野4条2丁目5-32



ヤチダモはスマートで、ノンプロ級の野球バット



「カラス止まり」ってどこ

# キーワード



## プリオン

狂牛病についてのニュースで生産者と消費者にとまどいが起こっています。この狂牛病の感染源をプリオン(Prion) といいます。この病気は1986年にイギリスで初めて見つかりました。牛がふらふらして(失調症状)、最後には死んでしまうものです。解剖すると、脳がスポンジ状になっていることから、牛海綿状脳症と名づけられました。1992年には、37000頭ものウシがこの病気にかかりました。その原因はヒツジにありました。ヒツジにも昔から同じような症状の病気が知られており、スクレイピーと呼ばれていました。スクレイピーにかかったヒツジの肉や骨を完全な熱処理をしないまま、草食のはずのウシのエサに混ぜたために、4～5年の潜伏期の後に発病したのが狂牛病でした。

同じような症状を呈する病気がヒトにも見つかっていました。クールーと言い、ニューギニアの未開部族ではやった病気です。死者を敬う目的で脳を食べたために数十年後に発病し、2500以上の症例が報告されています。政府がこの習慣を禁止した後に発病はゼロとなりました。

人が海綿状脳症となる狂牛病に似たクロイツフェルト・ヤコブ病がありますが、牛の脳・内臓を食べることによる発症が心配されていて、その潜伏期間が10年以上だとも言われています。この感染のメカニズムはまだまだ解明されていませんが、スクレイピーや狂牛病の脳の抽出物をネズミの脳に接種すると、同じ症状がネズミに出て、この病気は感染することがわかりました。そこで、感染本体を調べると、1種類のタンパク質が見つかり、その感染源をプリオンと名づけました。この感染したプリオンは、紫外線処理をしても、100℃でねつ処理しても、ホルマリン処理をしても、感染力はなくなりませんでした。狂牛病の全容については、沢山の疑問や謎が残っています。

(生物の小事典…岩波書店 抜粋)

# 観察会研修会 情報

## 1月以降の自然観察会予定

- ◆1月の森の観察会 (協力) 1月17日 (木) 10:00~12:00 開拓記念館前集合  
 下見 1月10日 (木) 10:00~12:00

- ◆冬の森の観察会 2月24日 (日) 10:00~14:30 野幌森林公園大沢口  
 下見 2月23日 (土) 10:00~

- ◆野幌早春の森観察会 3月24日 (日) 10:00~12:00 開拓記念館前集合  
 下見 3月23日 (土) 10:00~

## 他団体の研修会・観察会

- ◆市民と共に考える森づくりの集い 2月17日 (日) ~18日 (月)

会 場 ・かてる2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)

・道庁別館地下1F大会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目)

つどいの内容 基調講演、トークセッション、ポスターセッション、森の情報発表

問い合わせ TEL・FAX 011-231-4111

14年度に向け、観察会のあり方や実施月日、観察会の場所についての計画構想をお持ちの方は、是非事務局か研修部長に提言して下さい。よりよい観察会実施にむけ多くの方々の考えを集約していきます。

## 編集後記

- ◆景気低迷、失業者、会社倒産と元気のない2001年でした。この元凶をたどれば、バブルの時代、環境を破壊する開発に投資した結果が、原因の一つだとも言えるでしょう。2002年、自然と共存し環境のあり方を考えていくパイオニアとして私たちの活動を進めていきましょう。
- ◆雪上の足跡をたどっていくと、その足跡から、いろいろな状況を読み取ることができます。冬芽も心なしかふくらんでみえます。シラカンバの穂状の雄花も春の準備をしています。冬の森での観察に心がはずみます。
- ◆平成13年度の活動も残すところ3ヶ月となりました。新年度にむけて、本会への提言、要望、希望をぜひお寄せください。新年度の活動計画に生かしていきたいと思えます。

北海道ボランティア・レンジャー協議会  
会報誌「エゾマツ」59号 2002.1.20 発行  
発行責任者 川端 功治

